



まちづくりハッピーウォーク街あるき実施 3月1日 7月5日

昨年度末3月1日(土)に第4回ハッピーウォーク街あるきを実施した。今回は布田小学校外部から齊藤順子さん、高橋佳子さんが参加し、一緒に地域の安全確保の地点から約2時間歩きながら現在の状況を確認した。

途中、地域内にある布田老人憩いの家(布田5丁目)にも立ち寄り、カラオケを熱唱中の「鈴の会」の皆さんのお話をお聞きした。代表の柳沢正俊(81歳)さんは、「この会は12、13人で月2回ここで活動している。だいたい1日1人10曲位歌う。声を出すことで、こういう場所に出ることが健康の秘訣だ。あとなるべく新曲を歌うように心がけている。」と若々しく語ってくれた。

またさらに、7月5日(土)には第5回ハッピーウォーク街あるきを実施した。当日は傘をさしながらの雨の中、本年度も新しく提出予定の地域改善要望書の指摘箇所の確認



第4回(3月1日)の布田老人憩いの家にて

と状況を確認しあった。今回は布田小PTA校外部からは、松尾久美子さん、村田祐子さんが参加。併せて地域内のAED設置箇所と一緒に確認し、AEDマップ作成の情報収集を行った。

当地区協では、この2回の街歩きの結果を踏まえて、今年11月に2回目の地域改善要望書を調布市に提出予定。なお、提出内容は、後日当地区ホームページに掲載予定。また、地域内AEDマップは、今号中面を参照ください。追加情報やご意見などがあればどうぞお知らせください。



第5回(7月5日)終了後の布田南部自治開館前にて

夏休みラジオ体操

去る8月11日から17日までの7日間、布田小おやじネット主催のラジオ体操が行われた。今年で6年目を迎えるこの夏休み恒例の行事には、眠い目をこすりながら通う児童と保護者を含めて7日間合計で延700人が参加した。主催者の

調布市防災教育の日 避難所実演訓練を実施

平成26年 4月26日 布田小体育館

- ①感想
- ②普段家庭での対策は?
- ③今後の要望は?

去る4月26日(土)の調布市防災教育の日、当地区協主催で、布田小学校体育館にて避難所訓練の実演演習を実施した。

学校側が午前中に防災教育授業をした後に、午後11時24分地震発生の想定のもと、5、6年生の児童と希望者の保護者を中心に約120名が体育館に集まった。

各地区班ごとに分かれた参加者は全体の説明を聞いた後に、段ボールでの居住区画体験、消防署員によるAED救命見学、三角巾による応急処置などの訓練を行った。以下参加者の声。

◎中村美穂さん(布田5丁目在住)
 ①アルファ米の作り方を映が良かった。仕事をしているの



各居住地域ごとに集まる参加者の皆さん

で地域の方々を知り合いになり、顔を知ることができて良かった。AEDの使い方もっと知っておきたい。

②水と3日間分の食糧などを買い替えておくようにしている。

③放課後に子どもだけのときに学校、公園、家のどこに避難したらいいかのアドバイスが欲しい。

◎井上由理さん(多摩川6丁目在住)
 ①アルファ米がとてもおいしかった。阪神淡路大震災の時にもらったのは全然違った。②非常時持ち出しリュックを用意し1年に2回中味をチェックしている。

③先の大震災を経験した上で、引き取り訓練の際に自転車を使用可にしたほうが現実的だ



消防署員のAEDを使った救命処置を熱心に見学



布田小ロータリーでラジオ体操。向う側は体操の観本を示す布田小おやじネットのお父さんたち。

- (2014)
- 9月 白山宮神社秋の祭礼(6-7日 布田南部自治会) 多摩川名月祭(7日 桜丘睦会) 布多天神社秋の祭礼(23日 布田西部自治会) あんしんあんぜん守リンピック(28日ハッピータウン) かもめ親睦交流会・神代植物公園散策(28日 染地かもめ会)
 - 10月 布田小地域運動会(19日 学校開放) 赤い羽根募金(各自治会) わくわくひろばまつり(26日 こころの健康支援センター 社会福祉協議会・その他有志)
 - 11月 染地児童館祭り(9日 健全育成) 学芸会(22日 布田小) 火の見やぐら下花植え(秋)(布田南部自治会) さくら広場プランター花植え替え(多摩川自治会) 防火のつどい、禁煙マナーアップ参加(各自治会)
 - 12月 和風作り教室(布田小4年生対象 健全育成) 年末特別警戒(28-30日 染友自治会、28-31日 布田南部自治会、染地一丁目自治会、1週間 多摩川自治会) 夜回り火の用心(桜丘睦会) 年末町内清掃(多摩川自治会) 消防防火訓練(NTT 調布社宅自治会)

布田小おやじネット代表の田口健(46歳)さんは、「昔はどの地域でも行っていた夏休みのラジオ体操をここ布田小地域でも復活させたという思いから今年で6年目の実施となった。私自身も出勤前の早起きは少し辛いこともあるが、子どもたちと体操するとさわやかな気持ちになり大変楽しい。来年も多くの子どもたちに参加してほしい。」と笑顔で語っていた。



訓練に参加した調布第三中の生徒さんたち

◎池本明央さん(布田6丁目在住)
 ①居住地域ごとに具体的な作業ができたことがとても良かった。参加者同志をお互い名前呼びあうコンセプトも大変実践的に感じた。

②防災袋の準備、家族の集合場所や連絡先の共有確認やガラス飛散防止フィルムなど。

③今後もぜひ続けて実施してほしい。

◎岡宗秀一さん(布田6丁目在住)
 ①避難経路だけでなく、避難所の立ち上げからの流れがわかって大変良かった。

②3日間分の食糧等を保管している。

③避難所立ち上げからの運営マニュアルを作成して配布してほしい。

◎池田英和さん(染地一丁目在住)
 ①近所の人の顔がお互い知れたことが良かった。

②水、お茶、食事をパックにして保管している。

③毎年ご苦労様です、今後も続けてください。

- (2015)
- 1月 白山宮神社初詣(1日 布田南部自治会) 和風・正月飾り 布田小体育館(健全育成) 消防団出初式見学(多摩川自治会) もちつき(桜丘睦会)
 - 2月 白山宮神社節分祭(3日 布田南部自治会) 四地区対抗耐寒マラソン(健全育成)
 - 3月 まちづくりハッピーウォーク(7日ハッピータウン) 六地区親睦ソフトボール大会(健全育成) スキー教室(27-29日 健全育成)

その他行事や日程があれば どうぞお知らせください!

はっぴーなきずな

今年度から布田南部自治会より地区協運営委員として参加させていただいております。私の子供たちが布田小学校に通って30年ほど前に比べると、地区の建物や風景はずいぶん変わってしまいましたが、安心して暮らせる町にしていきたいと思う人の心変わりはないと思います。地区協の活動を通じて多くのコミュニティ・グループの方々と協力体制を築いていければ嬉しいと思います。(藤田秀雄)

ハッピーうさ子 キャラクター紹介



布田小学校で飼っているうさぎにもハッピー隊の一員になってもらってます!このマーク見かけたら気軽に声をかけてね!

なまえ: ハッピーうさ子
 生年月日: 2011年7月7日
 家: 布田小

差し迫る自然災害

当地区協議会の発足が2011年の東日本大震災発生後の7月。これまで地震や火事を中心とした防災対策が地域の急務な課題として活動してきましたが、その間、巨大化する台風被害、天候不順による落雷の多発化、猛暑による熱中症の危険リスクの増大、土砂災害等、多くの自然災害による人命の危機が身近に迫ってきているように感じます。

ほんの昨日はテレビで他人事の気の毒なニュースだと見ていた自分は今まさかそれらが降りかかるとは誰もか思っていなかった。これに人災のリスクが加わり、自分や家族またその関係者が今日無事で生活できていることが何よりもありがたく、今後も平和で安全な生活が続くようただただ祈る気持ちです。

しかしこれら予測できない災害に対して人間はた無力なわけではありませんが、日ごろの備えと地域に住む人同志のつながりを広く深くすることで不安や心配を少しでも取り除くことが可能です。地区協の存在意義はまさにそこにあると断言できます。私たち大人の普段からの意識や行動がその地域で育つ子供たちにも影響し、将来の安心安全な日本の基になると強く感じています。

皆さんが愛するこの地域への願いや希望がそこに住む全員が未来への光となるよう、引き続き当地区協のご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会 会長 依田耕児

布田小地区ハッピータウン協議会 地域内および周辺の主なAED設置場所

(2014年9月版)



AED



★調布駅北口交番
★調布駅中央口改札

★国領交番

★布田駅改札

★富士見台小

★医療ステーション1階休日夜間急患診療所
★医療ステーション1階小島町歯科診療所

★郷土博物館

★小島町ふれあいの家

★布田交番

★ふじみだい学童クラブ

★こころの健康支援センター

★多摩川児童館

★シルバー人材センター

★布田老人憩いの家

★京王多摩川駅

★京王多摩川駅前交番

★調布南高校

★布田小

★染地児童館第一学童クラブ
布田小分室

★杉森小

★染地児童館

★三中

★多摩川児童公園内運動施設

★旭東化学産業東京工場

★いなげや調布染地店

★市民プール事務室内

★多摩川テニスコート

★多摩川自然情報館

※主に公共施設を中心に掲載
※開館時間(営業時間)限定の使用箇所もあり
※都内の全箇所の交番には設置済(24時間使用可)